

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 22 日 (2020.10.22)

【公開番号】特開 2019-57872 (P2019-57872A)

【公開日】平成 31 年 4 月 11 日 (2019.4.11)

【年通号数】公開・登録公報 2019-014

【出願番号】特願 2017-182188 (P2017-182188)

【国際特許分類】

H 0 4 W 52/02 (2009.01)

H 0 4 W 88/08 (2009.01)

H 0 4 B 1/40 (2015.01)

H 0 4 W 4/44 (2018.01)

【F I】

H 0 4 W 52/02

H 0 4 W 88/08

H 0 4 B 1/40

H 0 4 W 4/04 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

互いに異なる周波数を使用する複数の無線機を備えると共に、無線機毎に電源部が設けられた基地局装置において、

F D M A 方式で音声データを送信する 2 つ以上の第 1 無線機と、

S C P C 方式で音声データを送信する 1 つの第 2 無線機と、

前記第 1 無線機を動作させる第 1 モードと、前記第 2 無線機を動作させ、前記前記第 1 無線機の電源を遮断する第 2 モードと、の切り替えを制御する制御部と、

を備える基地局装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の基地局装置において、

前記制御部は、前記第 1 無線機のうちの 1 つを前記第 2 無線機として動作させることを特徴とする基地局装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の基地局装置において、

前記制御部は、前記第 1 モード又は前記第 2 モードのいずれであることを示すモード情報を格納した制御データを送信することを特徴とする基地局装置。

【請求項 4】

互いに異なる周波数を使用する複数の無線機を備えると共に、無線機毎に電源部が設けられた基地局装置が、列車に搭載された車上局装置との間で無線通信を行う無線通信システムにおいて、

前記基地局装置は、F D M A 方式で音声データを送信する 2 つ以上の第 1 無線機を少なくとも動作させる第 1 モードと、S C P C 方式で音声データを送信する 1 つの第 2 無線機を少なくとも動作させ、前記第 1 無線機の電源を遮断させる第 2 モードとを切り替え可能

に有し、前記第 1 のモード又は前記第 2 のモードのいずれであるかを示すモード情報が格納された制御データを前記車上司装置へ送信し、

前記車上司装置は、前記基地局装置から受信した制御データに格納されたモード情報に基づいて、前記基地局装置が前記第 1 モードの場合は F D M A 方式で音声データの送受信を行い、前記基地局装置が前記第 2 モードの場合は S C P C 方式で音声データの送受信を行うことを特徴とする無線通信システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明では、上記の目的を達成するために、基地局装置及び無線通信システムを以下のように構成した。

(1) 互いに異なる周波数を使用する複数の無線機を備えると共に、無線機毎に電源部が設けられた基地局装置において、F D M A 方式で音声データを送信する 2 つ以上の第 1 無線機と、S C P C 方式で音声データを送信する 1 つの第 2 無線機と、前記第 1 無線機を動作させる第 1 モードと、前記第 2 無線機を動作させ、前記前記第 1 無線機の電源を遮断する第 2 モードと、の切り替えを制御する制御部と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

(2) 上記 (1) に記載の基地局装置において、前記制御部は、前記第 1 無線機のうちの 1 つを前記第 2 無線機として動作させることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

(3) 上記 (1) 又は (2) に記載の基地局装置において、前記制御部は、前記第 1 モード又は前記第 2 モードのいずれであるかを示すモード情報を格納した制御データを送信することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

(4) 互いに異なる周波数を使用する複数の無線機を備えると共に、無線機毎に電源部が設けられた基地局装置が、列車に搭載された車上司装置との間で無線通信を行う無線通信システムにおいて、前記基地局装置は、F D M A 方式で音声データを送信する 2 つ以上の第 1 無線機を少なくとも動作させる第 1 モードと、S C P C 方式で音声データを送信する 1 つの第 2 無線機を少なくとも動作させ、前記第 1 無線機の電源を遮断させる第 2 モードとを切り替え可能に有し、前記第 2 モードでは前記第 1 無線機の電源を遮断し、前記第 1 のモード又は前記第 2 のモードのいずれであるかを示すモード情報が格納された制御データを前記車上司装置へ送信し、前記車上司装置は、前記基地局装置から受信した制御デー

タに格納されたモード情報に基づいて、前記基地局装置が前記第 1 モードの場合は F D M A 方式で音声データの送受信を行い、前記基地局装置が前記第 2 モードの場合は S C P C 方式で音声データの送受信を行うことを特徴とする。